




事業報告書

【子育て世代の賢い生活～ライフプランニングを学ぶ～】

日時	平成 29 年 12 月 9 日 (土) 14:00~16:00
目的	子育て世代を対象とし、家計のやりくり等のライフプランニングについて学ぶ。また、沖縄県は離婚率が高くひとり親の家庭が多く、支援制度の利用の仕方についても専門家がアドバイスし、よりよい生活の実現を支援する。
対象	子育て中の方・関心がある方
講師	名城 佳枝 氏 (ファイナンシャルプランナー)
会場	沖縄県男女共同参画センターていりる3階 研修室 1・2
定員	30名 [申込者数 17名]
参加者数	14名 (男性 2名・女性 12名)
講演内容 (概要)	<p>レシートのプロファイリングを各グループで行い、レシートから見える情報で、買い物をしていく人物像を予想した。レシートからは、性別・年代・居住地・勤務地・家族構成・職業などが予想できる多くの情報が記載されている事を実感してもらった。</p> <p>買い物時には、レシートを受け取らない人が多いが、買い物をした際には必ず受取って、買い物した内容を振り返り、不要な物に×印をつけ次回の買い物を改める事も節約の1つとアドバイスした。家計簿を付ける事が苦手な人向けの簡単な節約術として、1日毎または各週毎の予算を決めてファイルや封筒に予算金を入れ、そのお金を財布に移し替えて買い物をし、残ったお金をファイルや封筒に戻して行くことで、簡単に家計管理ができると伝えた。</p> <p>貯蓄の手法として、支出を把握し、年間や月の予算を決める事、予算の中に、先取り貯蓄として、続けていけるだけの貯蓄額を先に入れて予算を組み込む事で、無理せずに貯蓄ができる事をポイントに挙げた。</p> <p>家族全員の年齢やライフイベント(小・中・高校の入学や受験)が起こる年を把握し、ライフイベントに向けて、稼ぐ・貯蓄・備える・借るの計画するとより具体的に必要になる年や金額を把握することができ、対応する事ができると話した。</p> <p>例として、子どもの教育資金を捻出するには、児童手当を全て貯蓄する事で、大学の入学金の金額は貯めることができると話し、児童手当は子どものために使用するよう受講者に伝えた。</p>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてFPの方のお話をきけて、勉強になりました。家計簿さっそく始めてみます!! ・将来への必要な時期・準備金がすごくわかりやすかったです。 ・さっそく今日学んだことを実践したいと思いました。 ・将来への貯蓄への考えがかわってきました。(一部抜粋)
写真	  
主催等	沖縄県・(公財)おきなわ女性財団